

11月1日(土) 時間割

9:30 ~ 山階鳥類研究所紹介	鶴見みや古	自然誌研究室長
10:00 ~ 日本に生息するミソサザイに地理的な違いはあるか?	浅井芝樹	自然誌研究室
10:30 ~ 日本の海鳥の今を知る	富田直樹	保全研究室
11:00 ~ 鳥の標本を作る	岩見恭子	自然誌研究室
11:30 ~ 絶海の孤島で生きるモズの子育て戦略	千田万里子	保全研究室
12:00 ~ DNAで世界の鳥を同定する国際プロジェクトのあらましと成果	齋藤武馬	自然誌研究室
12:30 ~ (昼休み)		
13:00 ~ 山階鳥類研究所紹介	鶴見みや古	自然誌研究室長
13:30 ~ 日本に生息するミソサザイに地理的な違いはあるか?	浅井芝樹	自然誌研究室
14:00 ~ 日本の海鳥の今を知る	富田直樹	保全研究室
14:30 ~ 鳥の標本を作る	岩見恭子	自然誌研究室
15:00 ~ 絶海の孤島で生きるモズの子育て戦略	千田万里子	保全研究室
15:30 ~ DNAで世界の鳥を同定する国際プロジェクトのあらましと成果	齋藤武馬	自然誌研究室

講演内容

山階鳥類研究所紹介	山階鳥類研究所はどんなところか、沿革と現在の活動についてスライドを使ってお話しします。	一般向け
日本に生息するミソサザイに地理的な違いはあるか?	姿形に地理的な違いがあるとき、種の中に亜種という枠を設けて分けることがあります。日本のミソサザイは3つの亜種に分けられていますが、これは妥当な分け方なのか、DNA塩基配列で調べてみました。(昨年の“見にレクチャー”の続報でほぼ同じ内容です)	専門的
日本の海鳥の今を知る	最近鳥が増えた・減ったという話は、長期の調査データなしには検証できません。全国の様々な環境で長期の生物データ収集を行う環境省モニタリングサイト1000のうち、山階鳥研が担当している海鳥の調査について、様々な生態写真を交えて紹介します。	一般向け
鳥の標本を作る	標本作りは自然を調べるための第一歩です。鳥の標本はどうやって作られているのか、どんな種類の標本があるのかをご紹介します。身近な鳥たちの落とし物も標本になります。	専門的 解剖画像あり
絶海の孤島で生きるモズの子育て戦略	モズの高鳴きは秋の風物詩ですが、その他の季節には意外と観察機会の少ない種です。沖縄の絶海の孤島で繁殖するモズを材料に、普段は目にすることが難しい子育ての様子をお見せしながら、観察から明らかになったことをご紹介します。	一般向け
DNAで世界の鳥を同定する国際プロジェクトのあらましと成果	国立科学博物館と山階鳥研は、2008年から国際プロジェクト「DNAバーコーディング」に共同で取り組んでいます。このプロジェクトは、DNAを用いて種の識別を簡便に行おうとするものです。今回は、日本産繁殖鳥類種234種を用いた研究の成果をご紹介します。	やや専門的